

令和6年度用小学校音楽

## 指導計画案 (2024.2.29)

株式会社 教育芸術社

### 【本資料について】

- 本資料は、教育芸術社発行の令和6年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈104～604〉」に基づいて作成されています。(用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。)

### 【本資料の扱い方について】

- 扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、教材の選択や学習活動に軽重を付けるなどの調整を適宜行ってください。
- ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- 本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

### 【2学期制への対応について】

- 本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

題材名	1. 音楽で心の輪を広げよう	扱い時数の目安
		4時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、子供たちがこれから始まる4年生の音楽の授業に進んで取り組むことができるように、友達と声を合わせて歌ったり拍にのってリズムを打ったりする学習を展開します。</p> <p>歌唱教材「小さな世界」は、歌詞の内容や旋律の美しさを感じ取りながら友達と声を合わせて歌います。</p> <p>また、3年生までに積み重ねたリズムの学習を深めるために、「小さな世界」を用いた「リズムでなかよくなる①」を設け、リズム感や拍節感を育てます。この活動を行うことにより、合わせて歌ったり演奏したりする技能を高め、「小さな世界」を表現する力にもつなげていきます。</p> <p>「さくら さくら」では、歌詞の表す情景を思い浮かべ、日本の音楽の雰囲気を感じ取りながら歌えるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽イ(ア)、ウ(ウ)</p> <p>[共通事項]*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア リズム、旋律、音の重なり、フレーズ</li> </ul>		

※・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み核となるものについては、太字で示しています。

・音符、休符、記号や用語

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>① 技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>②知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① 旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌)</p>

\* 「リズムでなかよくなる①」は声を合わせて歌う学習につなげるリズムの活動のため、本題材では器楽の評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
友達と声を合わせて歌いましょう。	○小さな世界 (そだてよう)リズムでなかよくなるう①	1  2	●旋律の特徴を感じ取って歌う。  ●考える/ 互いの歌声を聴き合いながら、声を合わせて歌い方を工夫する。 ●歌う/ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。	◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ①技【行動観察、演奏聴取】
歌詞の表す様子を思いうかべながら、言葉のまとまりを大切にしながら歌いましょう。	(共)さくら さくら	3  4	●見つける/ 曲想と旋律の特徴や歌詞の内容との関わりに気づき、歌詞の表す様子を思い浮かべながら聴いたり、歌ったりする。  ●考える/ 言葉のまとまりや思い浮かべた様子が伝わるように歌い方を工夫する。  ●歌う/ 日本語の発音に気を付けながら旋律の感じを生かして歌う。	◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、発言内容】  ◆旋律、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取、ワークシート】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③技【演奏聴取】  ◆声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ※第1時から第4時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	2. 歌声のひびきを感じ取ろう	扱い時数の目安
		7時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 歌声に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な歌声の響きに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、3年生から始まったハ長調の楽譜の視唱や視奏に、より慣れ親しみながら、歌声のもつよさを味わう学習を展開します。</p> <p>この題材の歌唱教材のうち、「いいことありそう」「まきばの朝」はハ長調の音階でつくられていますので、復習も兼ねて、階名と音の高さを確認しながら、ハ長調の楽譜を見て歌うことができるようにします。「いいことありそう」は、旋律や歌詞の内容などが生み出す曲想を感じ取って、それを生かした歌い方を工夫する学習も合わせて進めていきましょう。</p> <p>また、鑑賞教材には、モーツァルト作曲の二重唱の曲を取り上げています。男声、女声のもつ歌声の特徴やよさと、それらの歌声の掛け合いや重なりが生み出す面白さを味わって聴くことができます。</p> <p>「風のメロディー」では、8分の6拍子の学習をしながらリコーダーと歌声が重なる響きを感じ取って表現します。「まきばの朝」では、ハ長調の視唱の学習を重ねるとともに、歌詞の言葉のまとまりやブレスの記号を参考にして、フレーズを生かして歌うことができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、旋律、音の重なり、音階、調、拍、フレーズ</li> <li>イ 呼びかけとこたえ</li> </ul> </li> <li>音符、休符、記号や用語</li> </ul> <p>付点8分音符、16分音符、8分の6拍子</p>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①技 思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>②知 曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌・器)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声やリコーダーによる副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。(歌・器)</p> <p>④知 曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>⑤技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p>	<p>思① 音色、旋律、音の重なり、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。(歌・器)</p> <p>思② 音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、二重唱や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p>	<p>態① 曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わりに気付き、歌唱表現や器楽表現を工夫する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器)</p> <p>態② 曲想と二重唱の歌声の音色や呼びかけとこたえ、音の重なりなどの音楽の構造との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の高さに気をつけながら、明るい声で歌いましょう。	○◇いいこと ありそう	1	●見つける/ 旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。  ●歌う/ ハ長調の音階について知り、音の高さに気を付けて歌う。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わりに気付き、歌唱表現や器楽表現を工夫する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容】 ※第1時から第4時、第7時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。 ①技【演奏聴取】
リコーダーと歌声のひびきを合わせましょう。	○◇風のメロディー	3  4	●見つける/ 8分の6拍子の特徴を感じ取りながら主な旋律を歌う。  ●えんそうする/ 音色に気を付けて、副次的な旋律をリコーダーで演奏する。  ●考える/ 8分の6拍子や旋律の特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫する。  ●歌うハえんそうする/ 歌とリコーダーの旋律が重なり合う響きを感じ取りながら演奏する。	◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ②知【行動観察、発言内容、演奏聴取】  ◆音色、旋律、音の重なり、拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 思①【発言内容、演奏聴取】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声やリコーダーによる副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 ③技【演奏聴取】
2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りましょう。	♪パパゲーノとパパゲーナの二重唱	5  6	●見つける/ 男声と女声の掛け合いや重なりに気をつけて聴く。  ●考える/ 二人の歌声の掛け合いや重なりが生み出すよさや面白さを味わって聴く。	◆曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ④知【行動観察、発言内容、ワークシート】  ◆音色、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、二重唱や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思②知【行動観察、発言内容、ワークシート】 ◆曲想と二重唱の歌声の音色や呼びかけとこたえ、音の重なりなどの音楽の構造との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態②【行動観察、発言内容、ワークシート】 ※第5時から第6時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
歌詞の表す様子を思いうかべながら、のびやかな声で歌いましょう。	(共)まきばの朝	7	●見つける/ 歌詞の内容を理解し、言葉のまともに気を付けながら歌う。 ●考える/ 旋律やフレーズに気を付けながら歌い方を工夫する。 ●歌う/ 歌詞の表す様子にふさわしい声の出し方に気を付けて歌う。	◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ⑤技【演奏聴取】 (◆曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わりに気付き、歌唱表現や器楽表現を工夫する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。) (態①【行動観察、発言内容】) ※態①の評価は第1時から第4時を通して適宜評価を行い、ここで最終的に総括して記録に残すため、( )で示しています。

題材名	3. いろいろなリズムを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		8時間
題材の目標	<p>(1) 曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わり、言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、反復や変化、呼びかけとこたえを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについてや、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽にみられるいろいろなリズムに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、これまでに身に付けてきた拍や拍子、リズムに対する感覚やそれを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていきます。</p> <p>手拍子のアンサンブルからなる器楽教材では、拍にのって表現することの楽しさを感じ取りながら、互いのパートの音を聴いて演奏する力を育てていきます。ギロやクラベスなどの特徴的なリズム伴奏と合わせて歌う楽しさを味わったり、音楽の仕組みを生かしながら4文字の言葉のリズムを組み合わせる言葉によるリズムアンサンブルをつくったりする学習を通して、拍子やリズムによって曲想が異なることに気付いて、表現を工夫することができるようにします。</p> <p>拍を感じながら、拍子やリズムにのって表現を工夫する学習は、友達と心を合わせて合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものです。</p> <p>子供たちが歌詞の内容や曲想から感じ取ったり想像したりしたことと関連付けながら、基礎的な表現の能力を伸ばしていきましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ウ(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ウ)(ウ) (3)音楽づくりア(ア)、イ(イ)、ウ(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、<b>リズム</b>、強弱、音の重なり、<b>拍</b></li> <li>イ 反復、呼びかけとこたえ、<b>変化</b></li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語             <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルテ、メッツフォルテ、くり返し記号</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(器)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いのパートや楽器の音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>③知 言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、反復、呼びかけとこたえ、変化などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p>	<p>思① リズム、強弱、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思② 音色、リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思③ リズム、拍、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p>	<p>態① 拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・づ)</p>

\* 「ピーナッツ ベンダー」はラテン打楽器の音色やリズムの特徴を感じ取る学習につなげる鑑賞のため、本題材では鑑賞の評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
手拍子のリズムアンサンブルを楽しみましょう。	クラッピング ファンタジー 第7番 ◇楽しいマーチ (そだてよう)リズムでなかよくなろう②	1  2  3	●\見つける/ リズムの重なり方や音の強さの違いを確かめる。  ●\考える/ リズムの重なり方や音の強さの違いを生かして、自分たちの表現を工夫する。  ●\えんそうする/ 互いのパートの音を聴き合いながら、手拍子でリズムアンサンブルをする。	◆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、演奏聴取】  ◆リズム、強弱、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思①【行動観察、発言内容、演奏聴取】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いのパートや楽器の音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②技【演奏聴取】
リズムばんそうのおもしろさに注目してえんそうしたり歌ったりしましょう。	◇○いろいろな木の実 ピーナッツ ベンダー(参考曲)	4  5	●\見つける/ 楽器の音色やリズムの特徴の面白さを感じ取って表現したり聴いたりする。  ●\考える/ リズム伴奏の面白さを生かすためにはどのようにすればよいかを考えて、楽器の鳴らし方を工夫する。  ●\えんそうする/ 歌う/ 楽器の音色や歌声に気を付けて、歌と楽器を合わせて演奏する。	◆曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】  ◆音色、リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思②【行動観察、発言内容】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いのパートや楽器の音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ②技【演奏聴取】
くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆言葉でリズムアンサンブル	6  7  8	●\見つける/ リズムをつなげることで生まれるまとまりや面白さを感じ取る。  ●\考える/ つくる/ 4文字の言葉を使い、リズムの組み合わせ方を工夫しながら8小節のリズムアンサンブルをつくる。	◆言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ③知【行動観察、発言内容】  ◆リズム、拍、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 思③【行動観察、発言内容、演奏聴取、ワークシート】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、反復、呼びかけとこたえ、変化などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 ④技【行動観察、発言内容、演奏聴取】 ◆拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、ワークシート】 ※第1時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	4. ちいきにつたわる音楽に親しもう	扱い時数の目安 3時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付く。</p> <p>(2) 日本の民謡の歌声や楽器の音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。</p> <p>(3) 日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、日本の民謡や地域に伝わる音楽の特徴やよさに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、日本の民謡を聴いてその特徴を感じ取ったり、自分たちの地域に伝わる踊りや舞の音楽を調べたりして、郷土の音楽への興味を高めていきます。</p> <p>「こきりこ」では、保存会の人々が歌う音源をまねて歌ったり、旋律の抑揚を線で表した図形楽譜を指でたどりながら聴いたりする学習を通して、声の出し方や歌い回しに注目した鑑賞の学習を進めます。そして、使われている楽器の音色や旋律の特徴に着目した鑑賞の学習に進みます。</p> <p>「ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう」では、「こきりこ」で学んだことを踏まえて、自分たちが住んでいる地域に伝わる踊りや舞の音楽を調べ、その音楽の特徴を感じ取り、より郷土の音楽に親しむことができるように、調べ学習のコーナーを設けました。地域や学校の実態に応じて、教材を差し替えたり、社会科や総合的な学習の時間との連携を図ったりして、子供たちの学びや興味を引き出すようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>B鑑賞 ア、イ [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、旋律</p>		

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①知 曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p>	<p>思① 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の民謡や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p>	<p>態① 日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、郷土に伝わる音楽に親しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
ちいきにつたわる音楽をききましょう。	♪こきりこ	1  2	<p>●\見つける/ 演奏をまねて歌ったり図形楽譜を指でたどりながら聴いたりする体験を通して、旋律の特徴を見付ける。</p> <p>●\考える/ 旋律、声や楽器の音色の特徴を感じ取り、地域に伝わる音楽のよさを味わう。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の民謡や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、郷土に伝わる音楽に親しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【発言内容、ワークシート】 ※第1時から第2時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>
	(チャレンジ)ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう	3	●\チャレンジ/ 地域に伝わる音楽を調べ、音色や旋律の特徴を感じ取る。	

題材名	5. せんりつのとくちょうをかんじとろう	扱い時数の目安
		8時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の特徴に親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を聴き取ったり、それらによって生まれる曲想を感じ取ったりしながら、表現と鑑賞の活動を進めていきます。これまでは音の上がり下がりが生み出す旋律の特徴を中心に学習してきましたが、 それに加えて、旋律の音の上がり下がりや強弱との関わりや、 スタッカートとレガートなどが生み出す旋律の特徴に気付き、それらにふさわしい表現の仕方を工夫していくようにします。</p> <p>そうした表現を工夫する中で、呼吸や発音に気を付けて歌ったり、タンギングと息の使い方に気を付けてリコーダーを演奏したりする技能も身に付けていくようにします。</p> <p>また、鑑賞では、聴き取り感じ取った旋律の特徴や曲想を言葉で表すなどして、それを友達と共有し合いながら、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴くことができるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (1)歌唱 <b>ア、イ、ウ</b>(ア)(イ)(ウ) (2)器楽 <b>ア、イ</b>(ア)(イ)、<b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B 鑑賞 <b>ア、イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、<b>旋律</b>、強弱</li> <li>イ 呼びかけとこたえ</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語             <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッカート、ピアノ、メゾピアノ</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>⑤知 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p>	<p>思① 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思② 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思③ 旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	<p>態① 旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組みもうとしている。(歌・器・鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	○ゆかいに歩けば	1  2	●\見つける/ 旋律の特徴と曲のまとまりを感じ取りながら、主な旋律を歌う。  ●\考える/ 歌う/ 旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。  ●旋律の特徴を生かして二部合唱をする。	◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ①知【行動観察、発言内容】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】
せんりつのとくちょうに合ったふき方でえんそうしましょう。	◇陽気な船長	3   4	●\見つける/ 旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取る。 ●\考える/ えんそうする/ 旋律の特徴を生かして演奏する。   ●\えんそうする/ 重なり合う響きを感じ取って二重奏をする。 ●互いの表現を聴き合い、曲想にふさわしい演奏のよさを感じ取る。	◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思①【演奏聴取、行動観察】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。 ③技【演奏聴取、行動観察】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④技【演奏聴取、行動観察】
せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。	♪白鳥 堂々たるライオンの行進 (参考曲)	5  6	●\見つける/ 主な旋律と伴奏の特徴を聴き取り、様子を思い浮かべながら聴く。  ●\考える/ 旋律の特徴や音色などが生み出す曲や演奏のよさを味わって聴く。	◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ⑤知【行動観察、発言内容】  ◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思②【ワークシート、発言内容】
せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	(共)とんび	7   8	●\見つける/ 歌詞の表す情景を想像しながら歌い、旋律の特徴に気付く。 ●\考える/ 歌詞の内容や旋律の特徴に合う強弱を工夫して歌う。   ●\歌う/ 歌詞の内容や旋律の特徴を生かして歌う。	◆旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思③【演奏聴取、ワークシート】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】 ◆旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【ワークシート、発言内容】 ※第1時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	6. せんりつの重なりを感じ取ろう	扱い時数の目安
		9時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる旋律の重なりに親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、自分や友達の歌声、あるいは楽器の音を聴き合いながら、みんなで声や音を合わせて演奏する能力をさらに伸ばして、旋律が重なり合うきれいな響きを味わうことができるように学習を進めていきます。</p> <p>前半と後半の旋律を重ねて歌うことができる歌唱教材と、異なる特徴をもつ旋律の重なり合いや掛け合いを楽しむことができる鑑賞教材を取り上げ、表現と鑑賞を関連させながら旋律の重なり合う面白さに注目して、旋律の反復や重なりが生み出す曲想を味わい、それを生かして曲の構造に気を付けて音楽を聴くことができるようにします。</p> <p>リコーダーのサミングを用いる器楽教材では、旋律の重なりが生み出す響きの美しさを味わうことを起点にして、二部合奏の楽しさに気付くことができるようにします。</p> <p>歌唱共通教材の「もみじ」では、言葉の美しさに気付いたり情景を思い浮かべたりしながら歌う学習も大切に上げつつ、本格的な二部合唱の導入としても扱い、旋律の重なり方の特徴や違いにも注目しながら、互いの声を聴き合って歌うことができるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア 音色、旋律、音の重なり、フレーズ</li> <li>イ 反復、音楽の縦と横との関係</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③知 曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>④知・技 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>⑤技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>思① 旋律、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思② 音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもってしている。(器)</p> <p>思③ 旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもってしている。(歌)</p>	<p>態① 旋律が重なる面白さを感じ取りながら歌ったり、聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・鑑)</p> <p>態② 旋律が重なる美しさを感じ取りながら、友達と声や音を合わせて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	○パレード ホッポー ♪ファランドール	1  2  3	<p>●\見つける\歌う/ 「パレード ホッポー」の<math>\square</math>と<math>\square</math>の旋律の特徴の違いに気付き、その違いを表現する。</p> <p>●「ファランドール」の二つの旋律に気付く。</p> <p>●\歌う\考える/ 二つの旋律の特徴を生かして、互いの声を聴き合いながら重ねて歌う。</p> <p>●\見つける/ 「ファランドール」の二つの旋律の特徴を聴き取る。</p> <p>●\見つける/ 二つの旋律の反復や重なり合いに気付く。</p> <p>●\考える/ 二つの旋律が掛け合ったり重なったりするよさや面白さを味わって聴く。</p>	<p>◆曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>①知【行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②技【演奏聴取、行動観察】</p> <p>◆曲想及びその変化と、旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>③知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆旋律、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>思①【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆旋律が重なる面白さを感じ取りながら歌ったり、聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【行動観察、ワークシート】</p> <p>※第1時から第3時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>
せんりつが重なり合う美しさを感じ取ってえんそうしましょう。	◇サミングにちょうせん! ◇オーラ リー	4  5  6	<p>●サミングの仕方を確認して練習する。</p> <p>●\見つける\えんそうする/ 旋律の特徴を捉えて、主な旋律と副次的な旋律を演奏する。</p> <p>●\考える\えんそうする/ 音色や音のバランスを工夫し、旋律が重なり合う美しさを感じ取りながら二部合奏をする。</p>	<p>◆楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④知・技【演奏聴取】</p> <p>◆音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思②【演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑤技【演奏聴取】</p>
声が重なり合う美しさを感じ取って歌いましょう。	(共)もみじ	7  8  9	<p>●\見つける/ 歌詞や旋律の重なり方に着目して聴いたり歌ったりする。</p> <p>●\考える/ 旋律の重なり方の違いを感じ取って、歌い方を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 互いの声を聴き合って二部合唱をする</p>	<p>◆曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。</p> <p>①知【発言内容】</p> <p>◆旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思③【演奏聴取、発言内容】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>②技【演奏聴取】</p> <p>◆旋律が重なる美しさを感じ取りながら、友達と声や音を合わせて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態②【演奏聴取、行動観察、発言内容】</p> <p>※第4時から第9時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	扱い時数の目安 8時間	
<p>題材の目標</p>	<p>7. いろいろな音のひびきを楽しもう</p> <p>(1) 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能、音楽づくりの技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 楽器の材質や音の出る仕組みに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられるいろいろな音の響きに親しむ。</p>	
<p>題材の意図</p>		
<p>本題材では、音色を中心に音の重なりや音楽の仕組みとの関わりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めていきます。音楽づくりでは、材質による音の特徴を捉えて音の組合せを工夫して音楽をつくったり、その響きの違いを生かしながら自分なりの発想をもって表現したりする学習を体験します。ここでは、音色に関わる学習の一環として、鉄琴や木琴に使うマレット選びの工夫も考えることができます。</p> <p>4年生の中心的な合奏教材「茶色の小びん」では、いろいろな楽器の音が重なる豊かな響きを味わいつつ、パート間の音量のバランスに配慮しながら演奏する活動を通して、互いの音を聴き合って演奏することの喜びを味わうようにします。</p> <p>鑑賞では、3年生で金管楽器の音楽に親しんだ学習経験を踏まえ、ここでは木管楽器がもっている固有の音の美しさを味わいながら聴く活動を進めます。4年生なりの音楽的な理由を伴いながら、曲や演奏のよさを見いだし聴くことができるようにしましょう。</p>		
<p>学習指導要領との関連</p>		
<p>A表現 (2) 器楽ア、イ(7)(イ)、ウ(7)(イ)(ウ) (3) 音楽づくりア(7)(イ)、イ(7)(イ)、ウ(7)(イ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>【共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、旋律、強弱、音の重なり、拍 イ 音楽の縦と横との関係</li> <li>・音符、休符、記号や用語 シャープ</li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 打楽器のいろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>②技 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p> <p>③知 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。(づ)</p> <p>⑤知 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(器・鑑)</p> <p>⑥技 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>⑦技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p>	<p>思① 音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。(づ)</p> <p>思② 音色、強弱、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p> <p>思③ 音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思④ 音色、旋律、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p>	<p>態① 打楽器の音色や組合せの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(づ)</p> <p>態② 楽器の音色や重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(器・鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆ …音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音のとくちょうに注目して、音楽をつくろう。	☆打楽器の音楽	1          2          3	<p>●<b>考える</b>/ 楽器の材質に注目して、音の鳴らし方を工夫する。</p> <p>●<b>見つける</b>/ 音の響きの長さや音色の違いなど、楽器の音の特徴を調べる。</p> <p>●<b>はつくる</b>/ 楽器を選択し、音の特徴を生かしながら図形を音で表す。</p> <p>●<b>考える</b>/ 三人の組になり、組み合わせる楽器を選ぶ。</p> <p>●<b>見つける</b>/ 音のつなげ方や重ね方に気を付けて、教科書P.50の例の「中」の部分を演奏する。</p> <p>●<b>考える</b>・<b>はつくる</b>/ 図形の組み合わせ方や重ね方の違いが生み出す楽器の音のよさや面白さを生かし、全体の構成を工夫して音楽をつくる。</p>	<p>◆打楽器のいろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</p> <p>①知【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>②技【演奏聴取】</p> <p>◆音色、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>思①【行動観察、発言内容、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</p> <p>③知【発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆音色、強弱、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思②【行動観察、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。</p> <p>④技【発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆打楽器の音色や組合せの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態①【発言内容、ワークシート】</p> <p>※第1時から第3時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>
フルートの音色を味わってききましょう。	♪ポロネーズ 茶色の小びん(参考曲)	4	<p>●<b>見つける</b>/ <b>ア</b>と<b>イ</b>の主な旋律を確認し、反復に気を付けて聴く。</p> <p>●<b>考える</b>/ フルートの音の出る仕組みを知り、音色のよさを味わう。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>⑤知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>思③【発言内容、ワークシート】</p>
ゆたかなひびきを味わいながらえんそうしましょう。	◇茶色の小びん	5       6       7       8	<p>●<b>見つける</b>/ 四つのパートの旋律の特徴を確かめる。</p> <p>●<b>えんそうする</b>/ 旋律のまとまりや音色に気を付けて、主な旋律を演奏する。</p> <p>●<b>考える</b>/ それぞれのパートの特徴を生かす演奏の仕方を考える。</p> <p>●<b>えんそうする</b>/ それぞれのパートの音を聴き合いながら合奏する。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>⑤知【発言内容】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑥技【演奏聴取】</p> <p>◆音色、旋律、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>思④【ワークシート】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑦技【演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音色や重なり合う響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態②【発言内容、演奏聴取、ワークシート】</p> <p>※第4時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>

題材名	8. 日本の音楽でつながろう	扱い時数の目安
		5時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わり、日本の音階や旋律のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 日本の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりや鑑賞の学習活動に取り組み、日本の楽器の音や音階に親しむ。</p>	
題材の意図		
<p>学習指導要領上、旋律楽器としての和楽器を中学年でも取り上げることになったことを受け、この題材では、箏を中心に取り上げ、鑑賞学習をきっかけとして、既習曲の「さくら さくら」の演奏を体験したり、旋律づくりをしたりします。</p> <p>鑑賞に当たっては、主題がなじみのある「さくら さくら」であるため、子供たちは興味をもって聴くことができます。箏の音色のよさや、音楽の特徴を感じ取りながら、我が国の音楽のよさを味わうようにしましょう。また、箏の音色に親しんだあと、三味線や三線の音色の比較鑑賞を行い、学習を広げていくこともできます。</p> <p>さらに、鑑賞や器楽の学習を生かし、音楽づくりでは「さくら さくら」の音階の音を使いながら友達と協働して旋律づくりを行います。子供たちが様々な種類の音楽と出会い、音楽の楽しみ方を広げていくことができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A 表現 (2) 器楽イ(イ)、ウ(イ) (3) 音楽づくりア(イ)、イ(イ)、ウ(イ)</p> <p>B 鑑賞 ア、イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、旋律、音階</li> <li>イ 反復、変化</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①知 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p> <p>②知 日本の音階や旋律のつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。(づ)</p> <p>③技 思いや意図に合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。(づ)</p>	<p>思① 音色、旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p> <p>思② 旋律、音階、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(づ)</p>	<p>態① 日本の楽器の音色や音楽の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)</p> <p>態② 日本の音階に興味をもち、音の動きを考えて旋律をつくる活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。(づ)</p>

\* 「ことをひいてみよう」は発展的な学習活動のため、本題材では器楽の評価規準を設定していません。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
ことの色に親しみながら ききましょう。	♪こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」から (チャレンジ)津軽じょんから節(参考曲) ていんさぐぬ花(参考曲)	1  2	●見つける/ 「さくら さくら」の旋律がどのように変化していくのかに注目して音楽を聴く。  ●考える/ ことの色や旋律の特徴を味わいながら、音楽を聴く。	◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、ワークシート】  ◆音色、旋律、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思①【発言内容、ワークシート】 ◆日本の楽器の音色や音楽の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、ワークシート】 ※第1時から第2時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。
	(チャレンジ)ことをひいてみよう	3	●チャレンジ/ 箏の演奏の仕方を知り、「さくら さくら」の旋律を演奏する。	
日本の音階のよさを感じ取りながら、せんりつをつく りましょう。	☆「さくら さくら」の音階でせんりつづくり	4  5	●つくる/ 三人の組になり、それぞれがつくった旋律をつなげて、8小節の旋律をつくる。  ●考える/見つける/ どの旋律を、どのような順番でつなぐと音楽にまとまりが感じられるかを考えながら工夫する。	◆日本の音階や旋律のつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。 ②知【演奏聴取、ワークシート】  ◆旋律、音階、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 思②【発言内容、ワークシート】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、反復などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて旋律をつくっている。 ③技【演奏聴取、ワークシート】 ◆日本の音階に興味をもち、音の動きを考えて旋律をつくる活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。 態②【行動観察、ワークシート】 ※第4時から第5時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。

題材名	9. 思いを音楽で表そう	扱い時数の目安
		8時間
題材の目標	<p>(1) 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、曲に対する思いや曲のよさなどを、友達と共有する態度を育てる。</p>	
題材の意図		
<p>教科書上では、「曲想」という言葉を5年生から示していますが、4年生最後のこの題材で示されている「曲の気分」は、「曲想」を4年生に分かりやすい言葉で置き換えたものになります。これまでの学習のまとめとして、音楽的な見方・考え方をより働かせて、曲想やその変化と音楽の構造との関わりに気付いて表現を工夫したり、音楽を聴いたりすることができるように学習を展開します。</p> <p>表現の学習では、歌詞の内容や旋律の特徴、強弱などから気付いたことと曲想との関わりを考え、豊かな表現を工夫しながら歌ったり、互いの音を聴き合いながら気持ちを合わせて合奏したりします。また、鑑賞の学習では、曲想の変化を感じ取りやすい音楽を取り上げているため、音楽を形づくっている要素との関わりに気付いて聴くだけでなく、想像豊かに聴く喜びも味わうことができるように学習を展開します。</p> <p>5年生の音楽学習への橋渡しとなるように留意しながら、中学年の学習を締めくくるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、速度、<b>旋律</b>、強弱、拍</li> <li>イ 反復、音楽の縦と横との関係</li> </ul> </li> <li>・音符、休符、記号や用語                     <ul style="list-style-type: none"> <li>クレシェンド、デクレシェンド</li> </ul> </li> </ul>		

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①知 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。(歌)</p> <p>②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌)</p> <p>③知 曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(器)</p> <p>④技 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器)</p> <p>⑤知 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。(鑑)</p>	<p>思① 旋律、強弱、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p> <p>思② 音色、旋律、拍、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器)</p> <p>思③ 音色、速度、旋律、強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(鑑)</p>	<p>態① 曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(歌・器・鑑)</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱い 時数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲の気分を生かして歌いましょう。	○赤いやねの家	1  2	<p>●\見つける/ 旋律の音の上がり下がりや拍子、強弱記号と曲想との関わりに気を付けながら歌い、歌詞の中でいちばん伝えたい部分を見付ける。</p> <p>●\考える/ 歌詞の表す気持ちを考え、それを生かす声の出し方や強さを試しながら、自分たちの表現を工夫する。</p> <p>●\歌う/ 伴奏や友達の声聴きながら、曲に込められた思いを生かして歌う。</p>	<p>◆曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付いている。 ①知【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆旋律、強弱、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 思①【発言内容、ワークシート、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②技【演奏聴取】</p>
曲の気分を感じ取って合奏しましょう。	◇鉄わんアトム	3  4  5  6	<p>●\見つける/ 演奏を聴いて曲想を感じ取ったり、旋律の特徴に気を付けて、自分の受け持つパートを演奏したりする。</p> <p>●\考える/ 曲想を生かす表現を友達と一緒に考え、演奏の仕方を工夫する。</p> <p>●\えんそうする/ それぞれのパートの音をよく聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏する。</p>	<p>◆曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ③知【行動観察、発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆音色、旋律、拍、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 思②【行動観察、発言内容、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 ④技【演奏聴取】</p>
音楽が表している様子を思いうかべながらききましよう。	♪山の魔王の宮殿にて朝の気分 <small>(参考曲)</small>	7  8	<p>●\見つける/ 音色、速度、強弱などの変化に注目して聴き、場面の様子や曲想がどのように変わったかに気付く。</p> <p>●\考える/ 曲全体を通して聴き、この曲のよさや面白さについて友達と話し合う。</p>	<p>◆曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 ⑤知【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆音色、速度、旋律、強弱、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 思③【発言内容、ワークシート】</p> <p>◆曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 態①【行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>※第1時から第8時を通して適宜評価を行い、最終的に総括して記録に残す。</p>